

# ドクター1ワン

オールシーズンタイプ ファイバー入り  
カチオン性再乳化形粉末樹脂一材型

## カチオン性ポリマーセメントモルタル

ドクター1シリーズは普通硬化型のカチオン性再乳化形粉末樹脂一材型のポリマーセメントモルタルです。オールシーズン使用可能で、施工箇所、塗厚等の使用目的に合わせて、製品を選択できます。

### 特長

- **施工箇所、用途に応じて選定が可能です。**

施工箇所、用途、仕様に依りて軽量～重量骨材タイプと幅広く選択できます。

- **接着性に優れ、水で練るだけで使用できます。**

カチオン性再乳化形粉末樹脂が既調合されている為、水で練るだけで施工でき、高い接着力を発揮します。

- **気温0℃まで施工可能です。**

特殊プレミックスモルタルの為、秋期～冬期において気温0℃まで対応可能です。

※氷点下での施工の際はお問合せください。

- **安定した品質です。**

既調合品の為、品質が安定しており、規定量の水で混練りすることにより、諸物性に優れたカチオン性ポリマーセメントモルタルとなります。



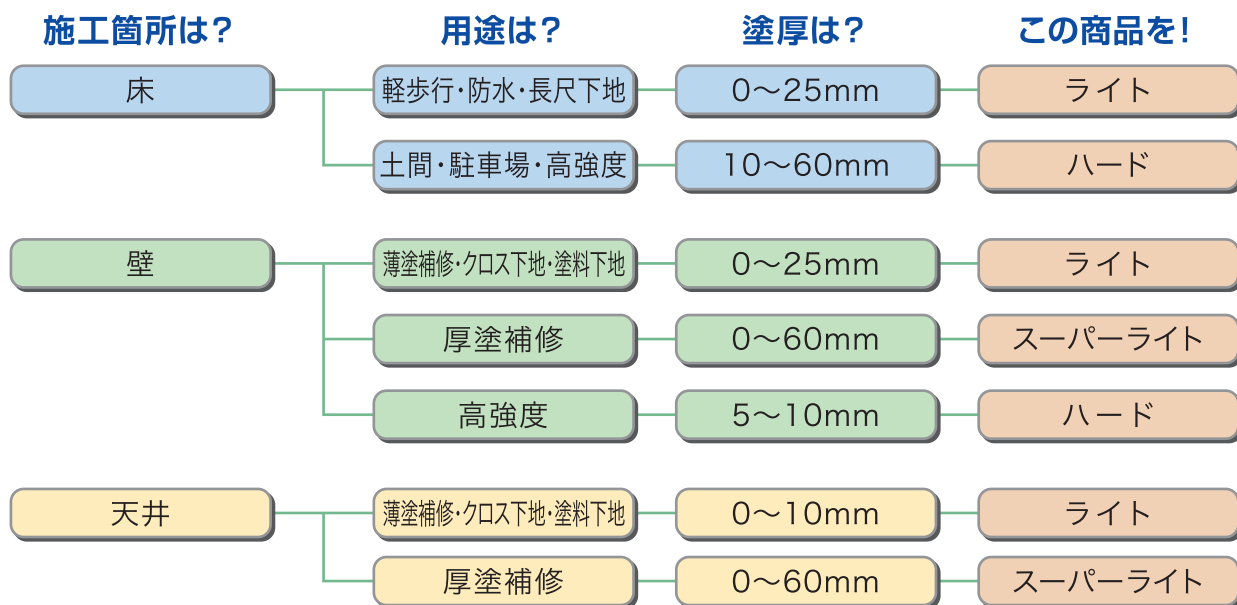
### 種類・荷姿・用途

種類	荷姿	水量	練上り量	用途	塗厚
ハード 〈重骨タイプ〉	20kg 袋	2.8～3.0kg	約10ℓ 10mm厚で1m <sup>2</sup>	欠損部・断面修復・床面補修 高強度コンクリートの補修	5～60mm
ライト 〈軽量タイプ〉	15kg 袋	3.4～3.6kg	約10ℓ 10mm厚で1m <sup>2</sup>	壁面欠損部補修 床面補修(防水下地など)	0～25mm
スーパーライト 〈超軽量タイプ〉	10kg 袋	3.2～3.3kg	約9ℓ 10mm厚で0.9m <sup>2</sup>	天井・壁面欠損補修	0～60mm

※ ドクター1シリーズは「日本建築学会 断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)」「建築改修工事監理指針 断面修復用ポリマーセメント品質基準(案)」の物性を有しております(社内試験)。

※ ドクター1ハードは「NEXCO 構造物施工管理要領 左官工法による断面修復の性能照査」の物性を有しております(社内試験)。

## 商品選定フロー① 施工箇所



※ 壁・天井面で塗厚25mm以上の大きな欠損部（300×300mm以上）では、落下防止の為、ステンレスアンカーピン及びステンレス線を併用してください。

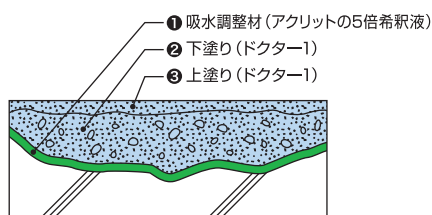
※ 上記選定フローは参考例です。詳しくはお問合せください。

## 商品選定フロー② 強さ試験一覧

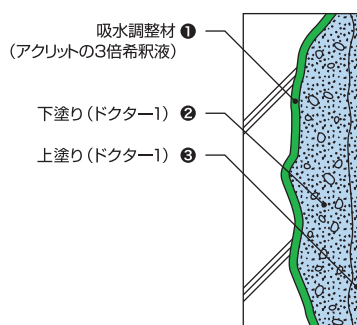
種類	圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )			曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )			付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	
	3日	7日	28日	3日	7日	28日	7日	28日
ハード	30.0	41.0	60.0	6.5	7.5	9.0	2.2	2.6
ライト	20.0	27.0	40.0	5.5	6.5	8.0	1.8	2.3
スーパーライト	17.0	22.0	31.0	4.0	4.5	7.0	1.6	2.0

## 施工例の概念図

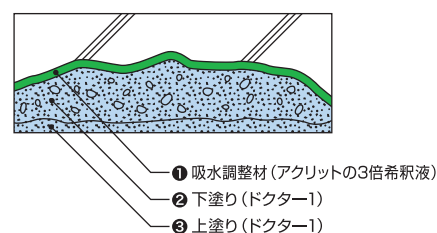
### 床面改修



### 壁面改修



### 天井面改修









# 使用法

## 1. 下地処理

- ☆下地面のレイトンス、劣化部分、ほこり、油分、汚れ、付着物等はワイヤーブラシ、サンダー等で除去してください。
- ☆クラック部分及び著しい不陸箇所は、塗付け前に適切な処理を行ってください。
- ☆塗付け箇所には、下地を乾燥後、吸水調整材としてマノールアクリットの3～5倍希釈液（アクリット1：水2～4）を塗布してください。低温時や下地の劣化が激しい場合は、状況に応じてプライマーコートACを塗布してください。  
※コンクリート・モルタル面以外の下地や劣化の激しい下地についてはお問合せください。
- ☆鉄筋露出部へはケレン・清掃後、マノール防錆剤を塗布してください。

## 2. 混練（標準調合）

- ☆ドクター1と水を下記の標準調合に従い、ハンドミキサー等で3分間混練してください。  
※アルミ製の羽根は使用しないでください。

種類	粉体(kg)	水(kg)	練上り量(ℓ)	標準施工面積
ハード	 20kg	+  水 2.8～3.0kg	= 約10ℓ	10mm厚で1m <sup>2</sup>
ライト	 15kg	+  水 3.4～3.6kg	= 約10ℓ	10mm厚で1m <sup>2</sup>
スーパーライト	 10kg	+  水 3.2～3.3kg	= 約9ℓ	10mm厚で0.9m <sup>2</sup>

## 3. 塗り付け

- ☆吸水調整材の塗布後、混練したドクター1を塗付けます。
- ☆鍍圧を十分にかけてながら下地にしごき付け、その後、追っかけ作業で所定の厚さになるように塗付けてください。  
※混練後は可使時間内（夏季40分、冬季60分）に使い切ることとし、練り戻しは避けてください。  
※壁・天井面で塗厚25mm以上の大きな欠損部（300×300mm以上）では、落下防止の為、ステンレスアンカーピン及びステンレス線を併用してください。  
※ハードを壁面で10mm以上塗付ける場合、又はライトを天井面で10mm以上塗付ける場合には、2日以上に分けて塗り付けてください。その際の施工間隔は夏季1日、冬期3日以上を目安としてください。  
※特に、ライト・スーパーライトについては単位容積質量が低い為、十分に鍍圧をかけてください。

## 4. 養生

- ☆施工完了後は直射日光や風雨を避ける為、シート等を用いて養生を行ってください。
- ☆仕上材の施工までの養生期間は夏季7日、冬季14日以上行ってください。

## 性能試験①

「日本建築学会 断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)」  
「建築改修工事監理指針 断面修復用ポリマーセメント品質基準(案)」に準拠。

### ●ハード

試験項目	試験結果	品質基準(案)	
単位容積質量(kg/ℓ)	2.200	-	
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	9.0	6.0以上	
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	材令7日	41.0	
	材令28日	60.0	20.0以上
付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	標準養生	2.6	1.0以上
	温冷繰り返し後	2.3	1.0以上
吸水量(g)	8.0	20.0以下	
透水量(ml/hr)	0.10	0.5以下	
長さ変化(%)	0.039	0.15以下	

### ●ライト

試験項目	試験結果	品質基準(案)	
単位容積質量(kg/ℓ)	1.810	-	
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	8.0	6.0以上	
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	材令7日	27.0	
	材令28日	40.0	20.0以上
付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	標準養生	2.3	1.0以上
	温冷繰り返し後	2.0	1.0以上
吸水量(g)	15.0	20.0以下	
透水量(ml/hr)	0.10	0.5以下	
長さ変化(%)	0.075	0.15以下	

### ●スーパーライト

試験項目	試験結果	品質基準(案)	
単位容積質量(kg/ℓ)	1.475	-	
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	7.0	6.0以上	
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	材令7日	22.0	
	材令28日	31.0	20.0以上
付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	標準養生	2.0	1.0以上
	温冷繰り返し後	1.7	1.0以上
吸水量(g)	18.0	20.0以下	
透水量(ml/hr)	0.15	0.5以下	
長さ変化(%)	0.099	0.15以下	

※記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。

## 性能試験②

NEXCO 構造物施工管理要領  
左官工法による断面修復の性能照査

### ●ハード

試験項目	試験結果	規格値	
硬化時間	3時間40分	1時間以上	
温冷繰り返し試験後の外観	異常なし	われ、はがれ、腫れないこと	
硬化収縮性	0.039	0.05%以下	
熱膨張性	0.64	2.0×10 <sup>-5</sup> /°C以下	
吸水量(g)	8.0	20g以下	
コンクリートの付着性	標準	2.6	
	湿潤	2.6	
	温冷	2.3	材令28日
	耐アルカリ	2.4	1.5 N/mm <sup>2</sup> 以上
コンクリートの圧縮強度	3日	30.0	
	7日	41.0	設計基準強度以上
	28日	60.0	

※記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。

## 注意事項

### 施工上の注意

- 現場での砂、セメント等の混入は避けてください。
- 気温が0°C以下の時は施工を中止するか。適切な養生を行ってください。
- 施工中及び施工後、降雨、降雪の予想される場合は施工を中止してください。
- 硬化時間は、水温、気温、保管状態により異なりますので、ご注意ください。

### 取扱い上の注意

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱い時は、換気の良い場所に行ってください。
- 取扱い後は、うがい、手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後は、使用した工具類を早めに水洗いしてください。

### 応急処置

- ★目に入った場合:直ちに多量の水で洗顔を、医師の診断を受けてください。
- ★皮膚に付着した場合:直ちに水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ★誤飲した場合:多量の水を飲ませ吐かせた後、医師の診断を受けてください。

### 保管上の注意

- 粉体は吸湿性が有りますので湿気厳禁で保管してください。

### その他の注意事項

- 輸送時、落下、転倒、破損等がないように荷崩れの防止を行ってください。
- 破棄する場合は、都道府県条例に基づいて処理してください。
- 粉体が混合した排水は、中和、希釈等を行ってください。
- ご使用前に安全データシート(SDS)をご確認ください。



セメント混和・助材総合メーカー

株式会社 マノール

<http://www.manol.co.jp/>

本社・東京営業所 / 〒120-0047 東京都足立区宮城2-4-16  
 福島営業所 / 〒960-8075 福島県福島市下野寺字遠原3-2  
 盛岡営業所 / 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-1-17  
 大阪営業所 / 〒535-0005 大阪府大阪市旭区赤川12-1-26

TEL.03(3927)1331 FAX.03(3927)1334  
 TEL.024(591)1131 FAX.024(591)1127  
 TEL.019(641)1131 FAX.019(641)1332  
 TEL.06(6927)3132 FAX.06(6927)3130

## 特約店